

## 令和5年度 部の運営方針管理書

部 局 名	建設部
部 局 長 名	篠崎 啓一
部の運営方針	<p>●第四次総合計画の基本目標「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり（安全・安心）」では浸水対策の推進、「快適で住み続けたいまちづくり（都市基盤・公共交通）」では公共交通の利便性向上、安全で快適な道路の整備、下水道の整備と普及を進めていきます。令和5年度は次の事業に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全で快適に通行できる道路を維持するため、道路ストックの点検を実施し、橋梁や舗装の修繕を進めるとともに、排水施設や街路樹の適切な維持管理を行います。</li><li>・街路灯の管理については、各自治会が管理する街路灯のLED灯への切り替えを啓発するとともに、LED化が完了したものについて、自治会が希望する場合は市へ移管していきます。</li><li>・生活道路の安全性や快適性を確保するため、歩道のバリアフリー化や、道路の拡幅・隅切の整備、道路排水施設の整備・改修を行います。</li><li>・幹線道路網の整備では、下ヶ戸・中里線外1線の残り区間の整備に向けて、関係機関との協議を引き続き行いながら、用地取得に取り組みます。</li><li>・下新木踏切道の改良では、残りの用地取得を進めます。</li><li>・安全で快適な自転車利用環境を創出するため、自転車ネットワーク計画を含めた自転車活用推進計画の検討を行います。</li><li>・警察署・交通安全協会などと連携して交通安全教室や普及啓発活動を推進することで、交通安全意識の向上を図り、交通安全対策に取り組みます。</li><li>・JR東日本が実施する我孫子駅構内エレベーター工事や、我孫子駅と天王台駅の緩行線ホームのホームドア工事に支援を行います。</li><li>・あびバスが地域に根付いた公共交通となるよう取り組んでいきます。</li><li>・地域公共交通協議会においては、地域公共交通計画の作成を進めると共に、（仮称）シャトルバスなどの新たな公共交通の検討を進め、地域交通の活性化・維持確保を目指します。</li><li>・老朽化が進む市管理の駅施設については、包括管理受託者が作成した修繕計画に基づき、長寿命化を図ります。</li><li>・公共下水道事業は、経営戦略に基づき地方公営企業として計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組みます。</li><li>・下水道ストックマネジメント事業は、ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の修繕・改築を行います。</li><li>・下水道の整備は、久寺家1・2丁目地区我孫子第6-1号幹線の整備を進めるほか、引き続き、湖北駅北口地区及び下ヶ戸西側地区の整備を進め、下水道の普及に努めます。</li><li>・下水道総合地震対策事業は、重要な幹線等のマンホール浮上防止の工事を実施するほか、第IV期計画（令和6年度～令和10年度）の策定を行います。</li><li>・水害に強いまちづくりの一環として、床上浸水が発生している地区の整備を重点的に進めます。布佐排水区、柴崎排水区では雨水幹線の整備、若松地区ではバイパス管整備後の復旧工事などを行います。また、市内の各地区では、地域特性や水害の発生状況に応じて、応急的な水害対策工事を行います。</li><li>・既設のポンプ施設や排水施設等が確実に機能するよう定期的点検を行うとともに、計画的に改修するなど適切な維持管理に努めます。</li></ul>

部 局 名	建設部
部 局 長 名	篠崎 啓一
部の運営方針に対する総合評価	<p>●第四次総合計画の基本目標「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり（安全・安心）」では浸水対策の推進、「快適で住み続けたいなまちづくり（都市基盤・公共交通）」では公共交通の利便性向上、安全で快適な道路の整備、下水道の整備と普及を進めていきます。令和5年度は次の事業に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で快適に通行できる道路を維持するため、道路ストックの点検を実施し、橋梁や舗装の修繕を進めるとともに、排水施設や街路樹の適切な維持管理を行いました。</li> <li>・街路灯の管理については、各自治会が管理する街路灯のLED灯への切り替えを啓発するとともに、LED化が完了した1自治会の街路灯を市へ移管しました。</li> <li>・生活道路の安全性や快適性を確保するため、歩道のバリアフリー化や、道路の拡幅・隅切の整備、道路排水施設の整備・改修を行いました。</li> <li>・幹線道路網の整備では、下ヶ戸・中里線外1線の残り区間の整備に向けて、関係機関との協議を引き続き行いました。</li> <li>・下新木踏切道の改良では、残りの用地取得に向けて協議を行いました。</li> <li>・警察署・交通安全協会などと連携して、保育園、幼稚園、小学校で交通安全教室を開催し、また、交通安全運動への参加や飲酒運転根絶等の啓発を行い、交通安全意識の向上と交通安全対策に取り組みました。</li> <li>・バリアフリー設備整備事業として、JR東日本が実施する我孫子駅構内エレベーター工事、天王台駅の緩行線ホームのホームドア工事の支援をすると共に、我孫子駅の緩行線ホームのホームドア工事の協定書を締結しました。</li> <li>・あびバスの円滑な運行に努めました。</li> <li>・地域公共交通協議会においては、廃止される路線バスについて、布佐ルート実証運行バスとして運行継続を決定すると共に、平和台線については、運行支援を行い維持確保することを決定しました。</li> <li>・老朽化が進む市管理の駅施設については、我孫子駅及び天王台駅のエスカレーターのステップ修繕等、修繕計画に基づき長寿命化を図りました。</li> <li>・公共下水道事業は、令和4年度からの下水道使用料改定の効果などにより令和5年度における経費回収率の目標値を達成し、経営基盤強化の取り組みが進みました。</li> <li>・下水道ストックマネジメント事業では、ストックマネジメント計画に基づき、若松地区における老朽管の改築工事を行いました。</li> <li>・下水道の整備は、久寺家1・2丁目地区の我孫子第6-1号幹線、湖北駅北口地区および下ヶ戸西側地区の下水道管工事を行い、下水道の普及に努めました。</li> <li>・下水道総合地震対策事業では、既計画に基づき重要な幹線等のマンホール浮上防止工事（舗装復旧工事）を実施したほか、第Ⅳ期計画（令和6年度～10年度）の策定を行いました。</li> <li>・水害に強いまちづくりの一環として、床上浸水が発生している地区の整備を重点的に進めました。布佐排水区、柴崎排水区では雨水幹線の整備、若松地区ではバイパス管整備後の復旧工事などを行いました。また、市内の各地区では、地域特性や水害の発生状況に応じて、応急的な水害対策工事を行いました。</li> <li>・既設のポンプ施設や排水施設等が確実に機能するよう定期的点検を行うとともに、計画的に改修するなど適切な維持管理に努めました。</li> </ul>

## 令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 建設部 道路課

---

### 1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・道路機能を確保するため、維持管理の充実を図ります。
- ・安全で快適に通行できる道路整備を進めます。  
(道路拡幅、路面補修及び道路施設の更新工事)
- ・計画的な雨水排水施設の整備改修を進めます。
- ・誰もが安全で快適に通行できる歩行者空間の確保を図ります。(バリアフリー、歩道工事)
- ・交通事故のない安全な交通環境整備を進めます。(道路交通安全施設の整備、維持管理)
- ・災害に強い街づくりの一環として市内道路橋梁の長寿命化計画に基づき修繕を進めます。
- ・街路灯の保守点検強化、LED化の普及を進めます。
- ・公共測量に必要な公共基準点の世界測地系への変換業務については、令和4年度の1級基準点変換作業に引き続き、2級基準点の変換作業を行います。
- ・幹線道路網の整備では、下ヶ戸・中里線外1線の用地取得を引き続き進めます。
- ・下新木踏切の改良では、引き続き用地取得に向け、交渉を行っていきます。

### 2. 課の目標への取組結果

道路が安全で快適に通行できるよう、目標に沿った適正な維持管理や道路拡幅工事、歩行者空間の確保等を実施するとともに、街路灯の保守点検、LED化の普及を進めました。

また、公共基準点のうち2級基準点について、世界測地系への変換作業を行いました。

幹線道路網の整備では、下ヶ戸・中里線外1線の整備工事及び道路修正設計を行いました。次年度に繰り越しました。

下新木踏切の改良では、用地取得に向けた協議を継続しました。

### 3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

幹線道路網や生活道路、通学路などの整備を進めるとともに、道路の維持管理を図りました。

また、正確な測量を適切に行えるよう、公共基準点の変換作業を行い、各自治会が管理する街路灯のLED化を推奨し、より一層のLED化を進めました。

### 4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

道路課所管事業を確実に執行するためには、用地事務・土木工事等の専門的な知識を有する職員の育成及び継続的な配置が不可欠であるとともに、草刈りや道路の緊急補修等に対応するための人員の増員が必要です。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路障害発生時(災害時)の規制・対策		
	担当部署名	建設部 道路課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	緊急輸送道路を最優先に、災害による道路の被害状況を速やかに把握し、道路交通を確保するため、警察や国・県と連携して、通行制限や迂回路の選定など、道路交通の安全策を講じます。			
関連する市の計画等	我孫子市防災計画			
当該年度 実施事業(Plan)  指: 指定事務事業	道路障害発生時(災害時)の規制・対策			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	0	0	令和4年度 (年度末時点)	2.66	0.40	
令和5年度	当初予算額	0	0	令和5年度	4月1日時点	2.60	0.40
	補正後予算額	0	0		年度末時点	2.60	0.40
	決算額	0	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	災害時の道路管理瑕疵にかかる損害賠償請求処理率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	災害発生時には、交通規制を実施し、二次災害の発生をさせることはありませんでした。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	災害発生時には、警察や国、県と連携し、二次災害の発生を防止すべく対応していく必要があると考えています。道路瑕疵に対する対応についても、事案発生後、速やかに対応していく予定です。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	交通安全施設整備	
	担当部署名	建設部 道路課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-5 交通安全の推進	
	施策の展開内容	交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	交通の安全を確保するため、警察や道路管理者と連携し、信号機やガードレールなどの交通安全施設の整備を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	交通安全施設整備		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	30,640	0	令和4年度 (年度末時点)	2.90	0.00	
令和5年度	当初予算額	31,119	0	令和5年度	4月1日時点	9.40	2.50
	補正後予算額	31,119	0		年度末時点	0.65	0.00
	決算額	31,086	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	交通安全施設工事完了率	%	目標値		100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	交通の安全を確保するため、警察などの関係機関と連携し、カーブミラーやガードレールなどの交通安全施設を設置しました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路の整備・改良	
	担当部署名	建設部 道路課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-4 安全で快適な道路の整備	
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実に努めます。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路については、将来交通量や費用対効果を踏まえ、計画的な整備を進めます。</li> <li>・狭あい道路や交通に課題のある路線については、円滑な道路通行を図るため、道路改良・整備を計画的に進めていきます。</li> <li>・通学路の安全確保のため、関係機関との点検で指摘があった路線については、早期の安全確保に努めます。</li> <li>・JR我孫子駅と手賀沼公園を結ぶ、市のシンボルロードである「公園坂通り」は、通過交通の抑制を図り、歩行者にやさしい「歩きたくなるみち」として計画的に整備を進めます。</li> </ul>		
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン		
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	市道24-003号線等(妻子原地先)の改良	指	土谷津地区の道路整備
	道路用地の管理		新木駅北口地区の道路整備
	開発行為の指導・道路用地の寄付帰属	指	布佐小学校入口交差点改良事業
	手賀沼公園・久寺家線の整備	指	並木小学校通学路整備
	下新木踏切道の改良	指	公園坂通りの整備
	高野山新田交差点改良		
	市道21-039号線(高野山地先)道路整備		
	指 下ヶ戸・中里線外1線の整備		
指 中峠・古戸の道路整備			
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	下ヶ戸・中里線等用地取得事業 H30~R5 668,415千円、下ヶ戸・中里線外1線用地取得事業 R5~R10 146,000千円 下新木踏切道用地取得事業 R4~R7 89,331千円		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				令和4年度 (年度末時点)	令和5年度	正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	641,237	183,346	2.55	0.00		
令和5年度	当初予算額	178,134	133,763	4月1日時点	3.25	0.00	
	補正後予算額	168,282	133,763				
	決算額	24,880	106,113	年度末時点	2.80	0.00	
	次年度へ繰越	128,025	1,914				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	手賀沼公園・久寺家線の整備進捗率	%	目標値	100	100	100	100	
			実績値	95	99	99		
活動 指標	土谷津地区の道路整備進捗率	%	目標値	30	70	99	100	
			実績値	30	70	80		
活動 指標	布佐小学校入口交差点 改良事業進捗率	%	目標値	25	75	95	100	
			実績値	25	30	70		
活動 指標	並木小学校通学路整備進捗率	%	目標値	0	10	40	100	
			実績値	0	10	20		
活動 指標	公園坂通りの整備進捗率	%	目標値	0	2	4	4	8
			実績値	0	2	4		
活動 指標	認定路線等の告示率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果 指標	下ヶ戸・中里線外1線の整備事業における契約 権利者数(残21人)	人	目標値	5	5	4	12	
			実績値	0	0	0		

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	市が管理すべき道路を適切に認定するとともに、安全で快適な道路の整備を進めました。 通学路についても、早期の安全確保のため、協議や測量・設計業務を行いました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	快適な道路の整備は市民の安全安心な通行に必要な不可欠なものであることから、現状通り推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	移動しやすい歩道の整備	
	担当部署名	建設部 道路課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-4 安全で快適な道路の整備	
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実に努めます。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	障害者や高齢者、ベビーカー・車椅子利用者など、誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、歩道整備やバリアフリー改修を進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	バリアフリー歩道改良		
	我孫子隧道の歩道改修		
	白山跨線人道橋延伸整備及び信号機の設置		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	0	0	令和4年度 (年度末時点)	3.00	0.00	
令和5年度	当初予算額	0	0	令和5年度	4月1日時点	3.00	0.00
	補正後予算額	0	0		年度末時点	3.00	0.00
	決算額	0	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	バリアフリー歩道改良進捗率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	白山跨線人道橋延伸検討進捗率	%	目標値	10	20			
			実績値	10	10			
活動 指標	我孫子隧道歩道対応策検討進捗率	%	目標値	20	30			
			実績値	20	20			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、バリアフリー整備や歩道改修等を進めています。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者や高齢者、ベビーカー・車椅子利用者など、誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、歩道整備やバリアフリー改修を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路空間の魅力化	
	担当部署名	建設部 道路課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-4 安全で快適な道路の整備	
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実に努めます。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある道路空間にするため、歩行者や車両の安全を確保しながら街路樹を守り育てるとともに、市民による道路環境美化活動の支援を行います。</li> <li>市民や訪れる人に、道路への親しみやまちへの愛着を深めてもらえるよう、道路愛称の普及・定着を図ります。</li> </ul>		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	道路愛称の定着化		
	道路環境美化の活動支援 (アダプトプログラム)		
	街路樹の維持管理事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工		
				正職員	会計年度等	
令和4年度	決算額	43,977	0	令和4年度 (年度末時点)	3.00 / 0.30	
令和5年度	当初予算額	49,861	0	令和5年度	4月1日時点	3.45 / 0.00
	補正後予算額	50,260	0		年度末時点	3.25 / 0.00
	決算額	50,250	0			
	次年度へ繰越	0	0			

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	A-Rap登録団体数	団体	目標値	20	22	23	24	25
			実績値	20	21	20		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	市が実施すべき事業は、順調に行うことができている。目標に掲げているA-Rap登録団体数増加に対する取り組みを推進していきたいと考えています。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	街路樹の維持管理は、道路の適正管理を行う上で必須項目です。また、消耗品の支給についても、加入団体を支援する意味で今後も継続すべきものとして考えています。引き続き、事業を継続するとともに、加入団体増加に向けた取り組みを行っていきたくと考えています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路環境の維持	
	担当部署名	建設部 道路課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-4 安全で快適な道路の整備	
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実に努めます。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。	
事務事業の目的・概要	道路情報の管理や情報提供を行うとともに、良好な道路環境を確保するため、事業者に適切な許可や確認を行います。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	市道の認定、廃止及び用途廃止	道路環境の維持(経常的経費)	
	放置車両の処理	道路の維持管理作業(土木センター)	
	法定外公共物管理	道路管理瑕疵の処理(私務)	
	街路灯の新設及び維持管理	街路灯補助金の交付	
	道路に関する相談への対応	車両制限の許可	
	道路の維持補修	道路占用申請等の許可・承認事務	
	道路台帳の修正	橋梁長寿命化修繕事業	
	道路境界の査定	道路の放射能対策	
	道路情報の提供(台帳、確定図の閲覧)	公共基準点の座標変換	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	道路維持補修工事 R5~R6年度 50,000千円、道路台帳修正業務 R4~R5 11,913千円、道路台帳修正業務 R5~R6 12,452千円 LED街路灯賃借 H28~R7 299,754千円		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	551,156	179,288	8.08	2.50
令和5年度	当初予算額	560,203	3,515	4月1日時点	3.00
	補正後予算額	560,695	3,515		
	決算額	552,612	971	年度末時点	12.40
	次年度へ繰越	0	2,544		

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	年間で予定している 橋梁修繕・点検事業業務の進捗率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	年間で予定している道路の 維持補修工事の進捗率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	道路が安全で快適に通行できるよう、維持管理を行うとともに、維持管理に必要な道路境界の査定や台帳管理を行いました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	道路や橋梁の適正な維持管理は市民の安全に直結する重要な事業であることから、現状通り推進します。

令和5年度 課の目標管理書

課 名：建設部 下水道課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・経営戦略に基づき地方公営企業として計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組みます。

・下水道ストックマネジメント事業は、ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の修繕・改築を行います。

・下水道の整備は、久寺家1・2丁目地区我孫子第6-1号幹線の整備を進めるほか、引き続き、湖北駅北口地区及び下ヶ戸西側地区の整備を進め、下水道の普及に努めます。

・下水道総合地震対策事業は、重要な幹線等のマンホール浮上防止の工事を実施するほか、第IV期計画（令和6年度～令和10年度）の策定を行います。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した方針に基づき、全取組みを実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

下水道事業の経営では、令和4年度からの下水道使用料改定の効果などにより、令和5年度における経費回収率の目標値を達成し、経営基盤強化の取組みが進みました。

下水道ストックマネジメント事業では、ストックマネジメント計画に基づく改築工事を行い、老朽管の更新が着実に進捗しました。

下水道未普及地区における公共下水道の整備では、下水道整備五力年計画に基づき、概ね順調に整備が進んでいます。

下水道総合地震対策事業では、重要な幹線等のマンホール浮上防止の工事を実施したほか、第IV期計画（令和6年度～令和10年度）の策定を行い、計画に基づき、概ね順調に事業が進んでいます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

下水道事業を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中、将来にわたり安定的に下水道事業を継続し、衛生的で快適な生活環境を確保していくため、引き続き、経営戦略に基づき計画的・合理的な経営を行うとともに、毎年度進捗管理を行い、使用料水準の適正化も含め、定期的な計画の見直しを図る必要があります。

また、下水道の新規整備・普及促進を図る一方で、今後は老朽化した施設の維持管理を長期的な視点で計画的かつ効率的に実施していく必要があり、ストックマネジメント計画に基づく修繕・改築工事を的確に推進していくには、財源を確保するとともに管渠やポンプ施設等の管理に必要な技術力を蓄積・継承していくことが求められます。

こうした諸課題に対応するためにも、経営と技術の両面から下水道事業運営を支える人材の育成を体系的に整理し実践することや、適切な人員配置と持続可能な組織体制の構築を図る必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	下水道事業の健全経営	
	担当部署名	建設部 下水道課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-6 下水道の整備と普及	
	施策の展開内容	衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。 また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	下水道事業を安定的に経営していくため、自らの経営を的確に把握し、健全経営に努めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	下水道ストックマネジメント事業		
	下水道使用料及び下水道事業受益者負担金の賦課徴収業務		
	下水道排水設備指定工事店申請業務		
	健全経営を優先した下水道計画の確立		
	予算・決算業務による経営分析		
	下水道事業会計への繰出金(下水道課経営安定化出資分)		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan&Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	152,713	65,791	令和4年度 (年度末時点)		5.90	0.80
令和5年度	当初予算額	325,856	0	令和5年度	4月1日時点	5.90	0.80
	補正後予算額	302,202	0		年度末時点	5.90	0.80
	決算額	282,270	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	下水道使用料未納率	%	目標値		0.5	0.5	0.5	0.4
			実績値		0.4	0.4		
活動 指標	下水道事業受益者負担金未納率	%	目標値		0.97	0.96	0.95	0.93
			実績値		4.48	2.82		
成果 指標	経費回収率	%	目標値	86.2	92.8	92.8	92.8	100.0
			実績値	82.5	93.0	94.3		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	未達成となってしまった指標はあったものの、概ね順調に経営することができています。 引き続き、継続的な催告等により徴収率の向上に努めるとともに、定期的に経営状況を分析し、経営改善に取り組みます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	下水道事業を安定的に経営していくため、引き続き徴収率の向上に努めるとともに、計画的かつ合理的な経営を行い、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組みます。 また、管渠施設の老朽化が進んでいることから、ストックマネジメント計画に基づき、長期的な視点で計画的かつ効率的に点検・調査、修繕・改築を実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	下水道施設の維持管理	
	担当部署名	建設部 下水道課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-6 下水道の整備と普及	
	施策の展開内容	衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。 また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	老朽化施設の改築・修繕や雨水の浸入対策など、計画的かつ効率的に維持管理を進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	污水管渠維持管理事業		
	污水中継ポンプ場維持管理		
	総合地震対策事業 (第Ⅲ期)		
	排水設備の審査及び竣工検査		
	流域関連公共下水道不明水対策事業 (第Ⅰ期)		
	久寺家汚水中継ポンプ場の圧送管閉塞事業		
	久寺家1・2丁目地区不明水対策事業 (No.5流域)		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan&Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	110,620	0	令和4年度 (年度末時点)		2.75	0.40
令和5年度	当初予算額	114,283	0	令和5年度	4月1日時点	2.75	0.40
	補正後予算額	114,246	0		年度末時点	2.75	0.40
	決算額	102,721	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	マンホール浮上防止設置箇所 (第Ⅲ期)	件	目標値	23	27			
			実績値	23	26			
活動 指標	マンホールトイレ設置箇所 (第Ⅲ期)	件	目標値	16	0	8		
			実績値	16	0	0		
成果 指標	総合地震対策事業進捗率	%	目標値	80	82	94		
			実績値	80	82	82		
成果 指標	不明水対策事業進捗率	%	目標値	38	59	79	100	
			実績値	38	59	79		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき、マンホール浮上防止対策及び避難所にマンホールトイレの整備を行っています。我孫子第四小学校へマンホールトイレの設置を予定をしていましたが、校舎の改修計画があることから実施を見送ることになりました。 未達成となってしまった指標はあったものの、概ね順調に事業が進んでいます。引き続き地震対策事業及び不明水対策事業に計画的に取り組めます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	総合地震対策事業では、大規模な地震に備え、災害が発生しても下水道施設の機能が維持できるように引き続き事業を実施していきます。また不明水対策事業では、千葉県流域下水道市町で協調して公共下水道の不明水対策に取り組んでおり引き続き対策事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	下水道管路の整備
	担当部署名	建設部 下水道課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-6 下水道の整備と普及
	施策の展開内容	衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。 また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。
事務事業の目的 ・概要	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	指	下ヶ戸西側地区の下水道管路整備
		下ヶ戸北側地区の下水道管路整備
	指	久寺家1・2丁目地区の下水道管路整備
	指	湖北駅北口(東側・西側)地区下水道管路整備
		青山地区の流域下水道への接続事業
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	154,930	49,200	令和4年度 (年度末時点)	3.35 / 0.00
令和5年度	当初予算額	307,397	232,824	令和5年度 4月1日時点	3.35 / 0.00
	補正後予算額	247,626	221,188		
	決算額	239,481	221,188	令和5年度 年度末時点	3.35 / 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	公共下水道管布設延長	m	目標値	1,118	1,127	767	1,565	1,182
			実績値	579	795	1,474		
成果 指標	公共下水道管布設総延長	m	目標値	330,728	331,855	332,622	334,187	335,369
			実績値	330,189	330,984	332,458		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	下水道整備五カ年計画に基づき、下ヶ戸西側地区、湖北駅北口地区及び久寺家地区で公共下水道の整備を行っており、概ね計画通りに整備を行うことができています。引き続き、下水道未普及地区の整備を計画的に進めていきます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	手賀沼等の公共用水域の水質改善を図る上で、必要不可欠な事業であるため引き続き推進していきます。

## 令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 建設部 治水課

---

### 1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・排水区の整備では、床上浸水が発生している地区を重点的に整備を進め、布佐排水区、柴崎排水区では雨水幹線の整備を進めます。若松地区では、バイパス管整備後の復旧工事などを行います。また、地域特性や水害の発生状況に応じて、応急的な水害対策工事を行います。

・排水施設の維持管理では、築後30年が経過している金谷排水機場のポンプなどを令和5年から令和7年までの3か年で集中的に改修工事を行います。また、既設のポンプ施設や排水施設等が確実に機能するよう定期点検を行うとともに、計画的に改修するなど適切な維持管理に努めます。

### 2. 課の目標への取組結果

・布佐排水区、柴崎排水区及び若松地区の排水区の整備、金谷排水機場更新工事並びに我孫子駅北口流域解析検証業務において、一部の事業を令和6年度に繰越して実施することになりましたが、そのほかの取組は予定通り実施しました。

### 3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

事業は概ね順調に進捗していますが、一部繰越した事業は、支障物や埋設物への対応、関係機関や近隣住民との協議などの理由により不測の期間を要しています。国や県との連携、市民や事業者へのPRについては実施しました。

### 4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

支障物や埋設物、関係機関や近隣住民との協議を事前に調整することで、工事が計画的に実施できることから、調整を図っていきます。国や県との連携、市民や事業者へのPRは、継続していくとともに、新たな取り組みも取り入れていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	河川防災の強化に向けた取組み	
	担当部署名	建設部 治水課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-1 防災・減災対策の推進	
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の氾濫を防ぐため、利根川や手賀沼の更なる堤防強化を国・県に働きかけていきます。</li> <li>・台風などにより手賀川と手賀沼の水位上昇が予想される際には、引き続き事前放流を実施するよう国に要請していきます。</li> </ul>		
関連する市の計画等	我孫子市水防計画		
当該年度 実施事業 (Plan)  指：指定事務事業	河川防災要望活動		
	河川合同巡視		
	洪水時の水防活動		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	243	0	令和4年度 (年度末時点)	0.40	0.00	
令和5年度	当初予算額	305	0	令和5年度	4月1日時点	0.40	0.00
	補正後予算額	305	0		年度末時点	0.40	0.00
	決算額	283	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	堤防強化の要望件数	件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	2		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	利根川等の堤防強化について、国や県に要望活動を行い、手賀沼・手賀川の水位上昇が予想される際には、事前放流を国に要請しました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、河川氾濫を防ぐ堤防強化について国や県に働きかけるとともに、手賀沼・手賀川の水位上昇が予想される際には、事前放流を国に要請していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	排水区の整備	
	担当部署名	建設部 治水課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-2 浸水対策の推進	
	施策の展開内容	市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。 さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的な雨水排水施設の整備を進めます。		
関連する市の計画等	我孫子市手賀沼流域関連公共下水道事業計画		
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	指	柴崎排水区の整備 (柴崎幹線整備事業)	
	指	布佐排水区の整備	
	指	若松第1~第5排水区の整備	
		緊急浸水対策	
継続費設定事業	布佐排水区(4工区) 整備事業 R3~R4年度 143,368千円、布佐排水区(5工区) 整備事業 R4~R5年度 267,630千円、 布佐排水区(6工区) 整備事業 R5~R6年度 50,000千円		
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	564,049	152,251	令和4年度 (年度末時点)		4.20	0.60
令和5年度	当初予算額	539,014	495,060	令和5年度	4月1日時点	3.95	0.60
	補正後予算額	518,963	495,060		年度末時点	3.95	0.60
	決算額	72,247	343,336				
	次年度へ繰越	445,569	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	柴崎排水区の整備率 (総延長 約1950m)	%	目標値	7.7	10.9	16.3	20.9	24.6
			実績値	7.7	10.9	10.9		
活動 指標	布佐排水区の整備率 (総延長 約1910m)	%	目標値	6.6	13.5	22.7	29.4	40.1
			実績値	6.6	6.6	13.5		
活動 指標	若松第1~第5排水区の整備率 (総延長 約1270m)	%	目標値	82.7	100	100		
			実績値	79.9	84.1	100.0		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	支障物や埋設物への対応、関係機関や近隣住民との協議などで工程に遅れが生じている排水区もありますが、概ね順調に進捗しています。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	床上浸水が発生している地区の整備を重点的に進める必要があります。週休2日制、資材価格や人件費の上昇などの社会情勢の変化もありますが、計画的に浸水対策を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	排水施設の維持管理	
	担当部署名	建設部 治水課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-2 浸水対策の推進	
	施策の展開内容	市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。 さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	既存の雨水排水施設の機能を確保するため、適切に維持管理していきます。		
関連する市の計画等	金谷排水機場長寿命化計画		
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	指	排水施設維持管理	
		排水施設維持補修	
		つくし野川の維持管理	
		指 金谷排水機場の改修	
継続費設定事業	金谷排水機場の改修事業 R5~R7年度 115,500千円		
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	153,839	0	令和4年度 (年度末時点)	4.70 / 0.15
令和5年度	当初予算額	269,617	0	令和5年度 4月1日時点	4.95 / 0.15
	補正後予算額	265,885	0		
	決算額	190,351	0	年度末時点	4.95 / 0.15
	次年度へ繰越	69,300	0		

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	排水施設 (22箇所) 点検回数	回	目標値	192	192	192	192	192
			実績値	192	192	192		
活動 指標	金谷排水機場長寿命化進捗率	%	目標値			15	23	33
			実績値			6		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	限られた予算と人員で排水施設の維持管理を行い、機能を確保できましたが、施設の老朽化、燃料費や人件費の高騰などから、業務量や維持管理費用が増大しています。また、金谷排水機場の改修については、一部次年度へ繰越しました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	施設の老朽化がありますが、機能を確保できるよう適切に維持管理に努めていきます。また、金谷排水機場の改修について適切な工程管理により工期内に竣工できるよう進めています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民・事業者による雨水流出抑制の推進	
	担当部署名	建設部 治水課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-2 浸水対策の推進	
	施策の展開内容	市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。 さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	雨水流出を抑制するため、開発事業者や建築事業者に対し調整池や浸透ます等の雨水流出抑制施設の設置指導を行うとともに、住宅への雨水貯留タンクの設置を推進します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	雨水貯留タンクの設置補助		
	開発等への雨水流出抑制指導		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	329	0	令和4年度 (年度末時点)	0.70	0.00	
令和5年度	当初予算額	400	0	令和5年度	4月1日時点	0.70	0.00
	補正後予算額	250	0		年度末時点	0.70	0.00
	決算額	152	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	雨水タンク設置による雨水抑制量	m	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	3	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	開発等による雨水流出抑制施設の設置指導及び、雨水貯留タンクの設置を推進しました。また、雨水貯留タンクの設置補助については、市民向けの継続的な普及啓発を推進していきます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	近年の増大する降雨量に対し、河川への負担を軽減するため、雨水流出抑制が重要となることから、雨水流出抑制指導及び雨水貯留タンク設置の推進を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	河川愛護事業	
	担当部署名	建設部 治水課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6-2 自然環境の保全	
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	貴重な水と緑の空間である利根川が、地域の共有財産という理解を深めるとともに、豊かな自然環境の保全を図るため、ゴミの不法投棄の監視や市民などの協力を得て利根川堤防敷の清掃を実施します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	河川愛護事業 (利根川河川清掃)		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	18	0	令和4年度 (年度末時点)	0.26	0.00	
令和5年度	当初予算額	28	0	令和5年度	4月1日時点	0.26	0.00
	補正後予算額	28	0		年度末時点	0.26	0.00
	決算額	9	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	河川清掃実施回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	1	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	利根川河川清掃を実施することで、河川の美化及び自然環境の保全を図り、利根川が共有財産である理解を市民に深めることができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	利根川が共有財産である理解を市民に深めるためにも毎年実施していきます。

## 令和5年度 課の目標管理書

課 名：建設部 交通政策課

### 1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・JR東日本が行う我孫子駅、天王台駅のホームドアの整備について支援を行っていきます。
- ・あびバスが地域に根付いた公共交通となるよう安全で快適な利用、運行を行い、速達性を維持しつつ地域の意見を反映した運行方法を検討していきます。
- ・地域公共交通協議会において、日本大学の協力を得つつ、地域公共交通計画の作成を進め、地域交通の活性化・維持確保を目指します。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少した公共交通の回復やバス利用数増に向けた取り組みを検討します。
- ・東部地区の公共交通の改善と早達性を目指したバス路線の実証運行の検討をします。
- ・環境にやさしい自転車の活用を推進するため、自転車活用推進計画の策定に向けた庁内検討を実施します。
- ・老朽化が進む市管理の駅施設については、我孫子市駅施設長寿命化計画(個別施設計画)及び包括管理受託者が作成した修繕計画に基づき、修繕を行いながら長寿命化を図ります。
- ・交通社会情勢の変化等を踏まえ、「高齢者の交通安全対策」及び自転車保険加入の義務化を含む「自転車の安全利用対策」、飲酒運転の根絶を含む「悪質・危険な運転者への対策」の強化に重点を置き、交通安全対策を推進していきます。

### 2. 課の目標への取組結果

- ・公共交通のうち駅施設については、バリアフリー設備整備事業として、JR東日本が施工した我孫子駅構内エレベーター設置工事、我孫子駅と天王台駅の緩行線ホームのホームドア設置工事に支援を行うとともに、市管理の駅施設については、エスカレーターのステップ修繕等、修繕計画に基づき長寿命化を図りました。  
また、地域公共交通協議会において、地域交通の活性化・維持確保を図るため、東部地区におけるバス路線の実証運行の検討を行った他、燃料価格の高騰による影響を受ける公共交通事業者に対して補助金を交付することで公共交通の維持に取り組みました。
- ・交通政策では、警察署と連携して、保育園、幼稚園、小学校で交通安全教室を開催した他、交通安全運動への参加や飲酒運転根絶、自転車の保険の加入義務化等について、ホームページや広報へ掲載し交通安全対策を推進しました。

### 3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

- ・駅施設については、我孫子駅構内エレベーター設置工事、天王台駅の緩行線ホームのホームドア設置について支援を行い、多くの市民の安全性・利便性が向上しました。

### 4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

- ・自転車活用推進計画について、令和7年度の着手・策定を目指します。
- ・東部地区におけるJR成田線を補完する速達性を重視したバス路線の実証運行については、令和6年8月末をもって布佐駅と天王台駅を結ぶ路線バスが廃止されることから、東部地区における交通手段の維持・確保を目的に、既存の路線を引き継ぐ形で布佐ルート実証運行バスとして運行することとしました。また、同時期に廃止される布佐駅と新木駅を結ぶ路線バスについても平和台地区での市民生活に必要なことから、運行支援を行い維持することとしました。実証運行では、アンケート調査を実施し、東部地区が求める運行形態の検討を進めます。
- ・JR東日本が進める我孫子駅の緩行線ホームのホームドア設置工事について引き続き支援し、残る常磐線快速線ホームのホームドア設置について注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	交通安全普及啓発活動の推進	
	担当部署名	建設部 交通政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-5 交通安全の推進	
	施策の展開内容	交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	警察・交通安全協会などと連携して交通安全教室や普及啓発活動を推進することで、交通安全意識や自動車と自転車の運転マナーの向上を図ります。		
関連する市の計画等	第11次我孫子市交通安全計画		
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	交通安全普及啓発活動の推進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	411	0	令和4年度 (年度末時点)	0.55	0.80	
令和5年度	当初予算額	618	0	令和5年度	4月1日時点	1.20	0.00
	補正後予算額	460	0		年度末時点	1.20	0.00
	決算額	458	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	自転車乗車中における交通事故発生件数	件	目標値	75	73	71	69	63
			実績値	64	52	45		
成果 指標	交通事故による負傷者数	人	目標値	370	365	360	355	340
			実績値	292	272	256		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	自転車乗車中における交通事故発生件数及び交通事故による負傷者数は、年々減少している。これは警察と協力して実施している市内学校で行っている、交通安全教室など地道な努力が成果を上げて一助と考えています。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も市内交通事故「0」を目指し、警察と協力した交通安全運動を実施していきたいと考えます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域公共交通維持確保と利便性向上	
	担当部署名	建設部 交通政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-3 公共交通の利便性向上	
	施策の展開内容	誰もが安全に安心して快適に地域で暮らせるよう、鉄道やバス、タクシーなどの利便性向上とバリアフリー化を進めていきます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通の維持確保と充実を図るため、民間事業者と協力し、観光事業などと連携した利用の促進に取り組みます。</li> <li>・民間施設の送迎バスなど地域の輸送資源を活用し、地域公共交通を補完していきます。</li> </ul>		
関連する市の計画等	我孫子市移動等円滑化基本構想		
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	事業者等の送迎バスの空席を活用した外出応援事業		
	我孫子市地域公共交通協議会運営 (市民バスの運行)		
	指 (仮称)シャトルバスの実証運行		
	新型コロナウイルス感染症拡大及び燃料価格高騰に伴う公共交通事業者支援		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	81,836	0	令和4年度 (年度末時点)	0.63	0.00	
令和5年度	当初予算額	80,616	0	令和5年度	4月1日時点	1.10	0.00
	補正後予算額	83,051	0		年度末時点	1.10	0.00
	決算額	80,866	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	送迎バスカード申請件数	件	目標値	-	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	-	454	1,885		
活動 指標	地域公共交通確保維持に向けた協議回数	回	目標値		4	4	4	4
			実績値	1	2	2		
成果 指標	民間バス路線数 (維持確保)	路線	目標値		9	9	9	9
			実績値	9	9	9		
成果 指標	民間バス系統数 (維持確保)	系統	目標値		34	34	34	34
			実績値	34	34	34		
成果 指標	市内タクシー台数 (維持確保)	台	目標値		82	77	77	77
			実績値	82	77	76		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	現状では市民が通勤通学で日常生活に必要な移動はできている。経営状況の厳しい中で、個人タクシーで廃業があったが前年度並みの台数維持となったことは公共交通の維持が図られたと考えている。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	新型コロナウイルス感染症の拡大による利用者減及び燃料の価格高騰の影響を受け、公共交通事業者は厳しい運営状況となっている。また、運転手の担い手不足もあり、地域公共交通を維持確保するため行政の支援は必要不可欠と考えている。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	駅施設整備・維持・管理業務	
	担当部署名	建設部 交通政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-3 公共交通の利便性向上	
	施策の展開内容	誰もが安全に安心して快適に地域で暮らせるよう、鉄道やバス、タクシーなどの利便性向上とバリアフリー化を進めていきます。	
事務事業の目的 ・概要	駅利用者の安全性や快適性を保つため、市が整備したエレベーター・エスカレーターや自由通路の効果的な維持管理を行います。 ・JR東日本が行う、ホームエレベーターやホームドアなどの駅構内の施設の整備・改修及び駅の魅力を向上させるための新たな施設の整備について支援していきます。		
関連する市の計画等	我孫子市駅施設長寿命化計画		
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	駅施設維持管理事業		
	指 我孫子・天王台駅ホームドア整備		
	各駅エレベーター・エスカレーター等の整備		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	39,670	170,106	令和4年度 (年度末時点)	0.93	0.00	
令和5年度	当初予算額	189,550	238,174	令和5年度	4月1日時点	0.90	0.00
	補正後予算額	150,288	0		年度末時点	0.90	0.00
	決算額	133,750	88,802				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	公共交通事業者とのバリアフリーに関する協議回数	回	目標値		4	4	4	4
			実績値	1	2	4		
成果 指標	バリアフリー対応駅数 (駅構内外)	箇所	目標値		4	4	5	5
			実績値	4	4	5		
成果 指標	UDタクシー導入台数	台	目標値		14	15	16	19
			実績値	12	14	16		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	我孫子駅構内エレベーター及び天王台駅ホームドアの整備工事が完成した。UDタクシーの導入台数も目標を超えており順調に推移していると考えます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	市内の5か所の橋上駅舎は、新木駅を除き老朽化が目立ってきている。駅長寿命化計画を見直し、安全管理に努めているものの、維持するには高額の修繕費が必要となる。今後は、JR東日本や国・県と協議し駅施設の全面改修も視野に検討することも必要と考えます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路の整備・改良	
	担当部署名	建設部 交通政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-4 安全で快適な道路の整備	
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実に努めます。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路については、将来交通量や費用対効果を踏まえ、計画的な整備を進めます。</li> <li>・狭あい道路や交通に課題のある路線については、円滑な道路通行を図るため、道路改良・整備を計画的に進めていきます。</li> <li>・通学路の安全確保のため、関係機関との点検で指摘があった路線については、早期の安全確保に努めます。</li> <li>・JR我孫子駅と手賀沼公園を結ぶ、市のシンボルロードである「公園坂通り」は、通過交通の抑制を図り、歩行者にやさしい「歩きたくなるみち」として計画的に整備を進めます。</li> </ul>		
関連する市の計画等	第四次総合計画 都市計画マスタープラン		
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	自転車活用推進計画の策定		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	0	0	令和4年度 (年度末時点)	0.00	0.00	
令和5年度	当初予算額	0	0	令和5年度	4月1日時点	1.10	0.00
	補正後予算額	0	0		年度末時点	1.10	0.00
	決算額	0	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	庁内協議の進捗状況	%	目標値			80	100	100
			実績値			80		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	令和2年11月に千葉県が策定したことに鑑み、県下の市町村でも策定している現状である。本市も団体等からの要望もあり、自転車の活用推進を行う準備はしている。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	推進計画を策定するにあたり、市内全域でのネットワーク計画の策定はコンサルを行う必要があり、予算措置を随時行っていく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路環境の維持	
	担当部署名	建設部 交通政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-4 安全で快適な道路の整備	
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実に努めます。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	道路情報の管理や情報提供を行うとともに、良好な道路環境を確保するため、事業者に適切な許可や確認を行います。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan)  指: 指定事務事業	自転車等駐車対策事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				令和4年度 (年度末時点)	令和5年度	正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	0	0	0.00		0.00	
令和5年度	当初予算額	161,331	0	4月1日時点	0.70	0.00	
	補正後予算額	160,275	0				
	決算額	156,434	0	年度末時点	0.70	0.00	
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	放置自転車警告件数	件	目標値		1,800	1,750	1,700	1,550
			実績値	1,500	1,649	1,475		
成果 指標	自転車駐車場利用件数	件	目標値		8,200	8,300	8,400	8,600
			実績値	8,036	7,274	7,129		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	自転車駐車場施設は、高齢者の雇用確保として実施し、管理運営及び苦情に対しても迅速に対応しており、大きな問題もなく順調に推移している。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	自転車駐車場の運営管理を指定管理者で実施している自治体も多いが、本市は「高齢者の雇用確保」として実施しており、業務内容もほぼ問題は無い。ただし、経費削減は必要と考えますので、これまでの手法を見直しながら実施していきます。